

JF-IETF-RFC3326

セッション開始プロトコル(SIP)のための Reason ヘッダフィールド

(The Reason Header Field for the
Session Initiation Protocol (SIP))

第 1 版

2005 年 6 月 2 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC 3326に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2005年6月2日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 3261, RFC 2119

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

サービスを実現するために、どのような理由で SIP リクエストが送出されたのかを知ることが有用であることがよくある。本標準は、そのような情報を提供する、Reason と呼ばれるヘッダフィールドを定義する。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC 3326 : 「The Reason Header Field for the Session Initiation Protocol (SIP)」